医療機器メーカー・卸向け
RPAを活用した
営業事務効率化ガイド

RPA GUIDEBOOK

© OPEN, Inc. All rights reserved.

業界の特徴

医療機器メーカー・卸業界のいま

日本の医療機器市場は高齢化の進展とともに拡大し、現在約3兆円規模に達しています。
直近ではコロナ対策関連の特需がみられたものの、医療費の削減圧力は高まる一方であり、
薬価、材料価格が毎年下落している状況のため、決して楽観はできません。
さらには、近年の法改正などにより、情報管理体制が強化され、
GS1バーコード表示による製品のトレーサビリティー確保や、販売管理システムの導入が必須となりました。
こうした投資をまかなうために、大量仕入れで利益を捻出できるだけの企業規模が求められており、
同業間のM&Aも相次いでいます。

医療機器メーカー・卸は、
事業の収益構造や、顧客である病院に担当者が密着する営業手法を大きく変えられない中、
「営業活動に伴う事務の標準化・効率化を通じた生産性向上」が急務となっています。

© OPEN, Inc. All rights reserved.

営業事務が抱える課題

1 医療機器の特殊な商習慣

人口あたりの病院数が多い日本では、症例が分散して医療機器の集中購買・集中管理が困難。
販売側は各病院に少量を在庫し、使用時に売上計上する「預託在庫」で対処しており、
この特殊な商習慣に要する事務の負担感が高まっています。

2 営業活動が各人各様で、効率化が進まない

医療機関の要望にきめ細かく応えるため、医療機器の営業担当者は見積書を独自に作成し、
勤務先の販売管理システムに受注後から入力する例が珍しくありません。預託在庫の管理などで帰社できない場合、
そうした見積書の処理や、使用報告を受けた売上計上は営業事務担当者が引き継ぐものの、
様式や方法がバラバラで、なかなか効率化が進みません。

3 膨大な単純作業（償還価格改定の反映）が定期的に発生

医療機器の保険償還価格が2年に1回改定されるたび、医療機器の販売事業者では販売管理システムのマスタ変更、
つまり取扱商品の中から改定の対象を抽出し、新たな売価や適用時期を反映する作業が必要となります。
単純な分類・転記が多くを占める作業ですが、
その量は膨大で、手作業で処理する営業事務担当者には過重な負担がかかっています。

© OPEN, Inc. All rights reserved.

RPA とは

RPA（Robotic Process Automation）とは、
私たちが日々行っているパソコン上での一連の作業を効率化してくれる
”ソフトウェアのロボット”です。

単純作業における
人的ミス

慢性的な人手不足

属人的に
なっている業務

RPAによってルーチンワークを自動化することで
多くの課題を解決へと導きます。

© OPEN, Inc. All rights reserved.

RPA ができること

お使いのアプリケーションを操作させることができます。

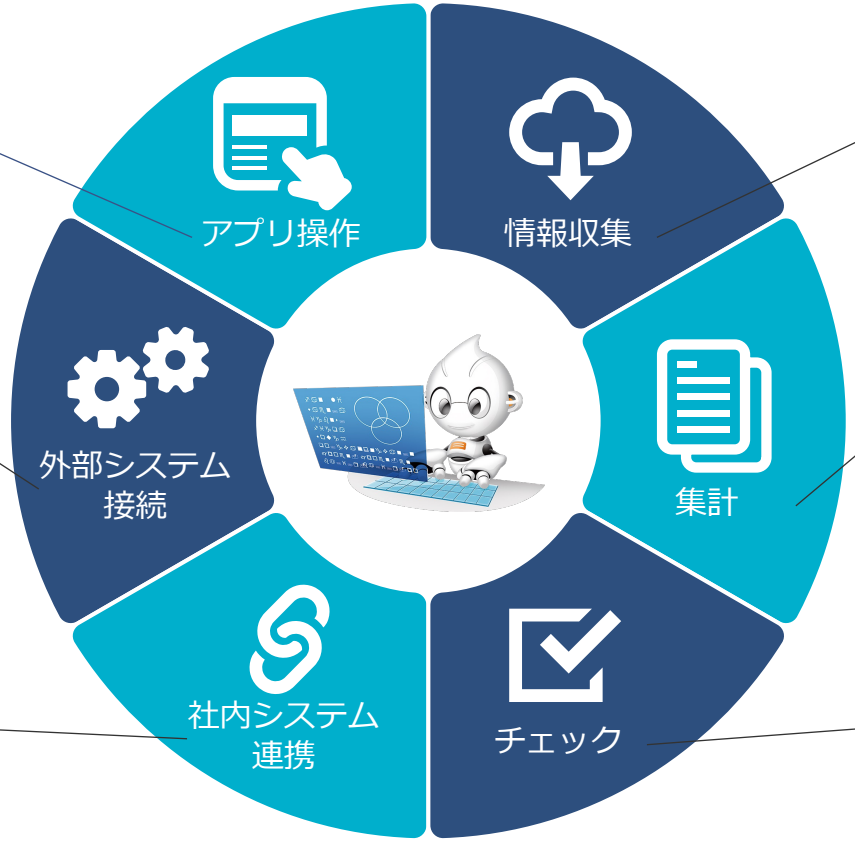
・ワークフロー実行
・メール送付
・特定条件での検索

社外のシステムに接続し、連携・操作することができます。

・EDIとの連携
・金融機関のWebバンキング操作
・親会社と子会社でシステム情報を連携

別々で作られたシステム同士をつなげることができます。

・システムへのデータ転記・読取
・基幹システムとフロントシステムの連携



Web等に掲載されている情報を集めることができます。

・競合価格調査
・株価調査
・イントラ上の更新情報調査

情報を集め、加工・整理までさせることができます。

・報告数値の集計・レポート化
・複数ファイルの統合加工

ミスやヌケモレなくチェックさせることができます。

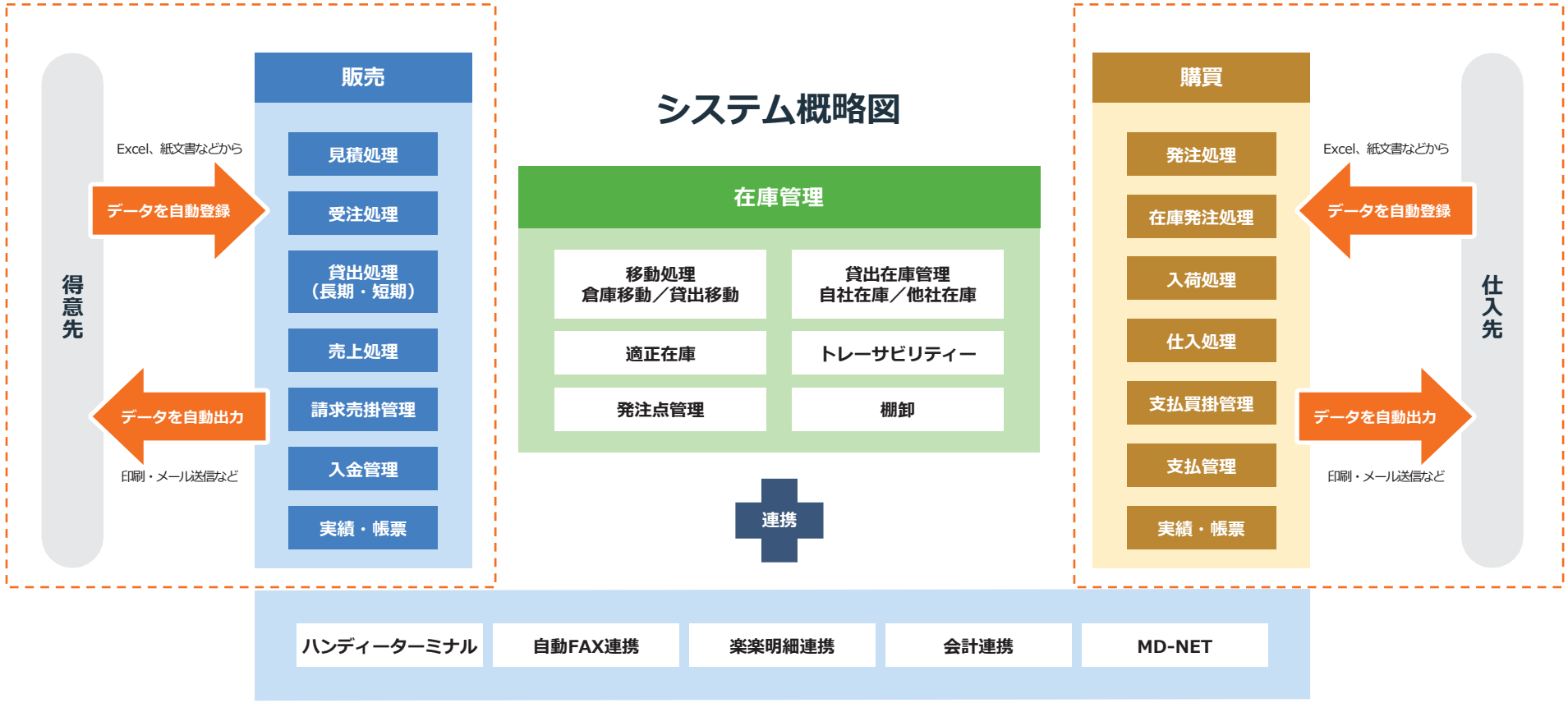
・異常値チェック
・社内ルールに反した記載のチェック

業界・業種に関わらず、あらゆる業務の自動化を実現します。

© OPEN, Inc. All rights reserved.

医療機器メーカー・卸業界で RPA ができること

システム上での情報管理の前工程となるデータ登録、後工程となるデータ出力を自動処理し
営業事務のさらなる標準化・効率化が図れます。



© OPEN, Inc. All rights reserved.

RPA が活用できる営業事務の例

RPAはプログラミング知識がなくても使い始められるローコードのツールなので、
以下のような仕組みを社員主体に低コストで構築・運用することが可能です。

仕入先からFAXで届く納品書のデータ自動登録

スキャン画像の記載内容をOCRでデータに変換後、RPAが販売管理システムに自動登録

手入力が不要に！

見積書の様式を集約して一括自動登録

RPAによる自動転記で統一書式に集約後、販売管理システムに一括登録

営業事務の標準化を無理なく実現！

預託在庫の使用報告からの売上計上を自動化

ハンディーターミナル以外で の 報 告（FAXなど）を、OCR×RPAで自動登録

追加発注もスムーズに！

償還改定への対応作業の効率化

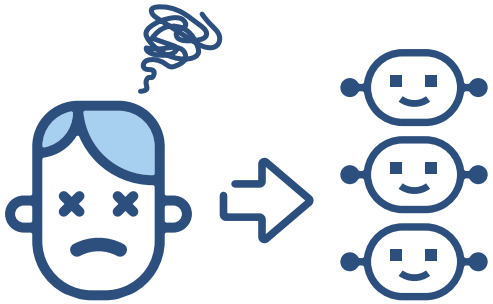
大量・煩雑な転記作業も、手順が決まっていれば全て、RPAが 正 確・高 速に自動処理

ヒューマンエラーから解放！

© OPEN, Inc. All rights reserved.

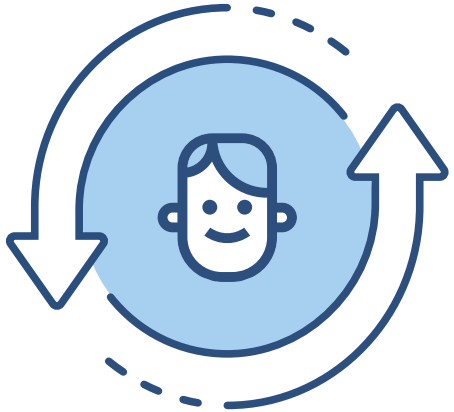
RPA 導入の効果

改善意識の醸成から営業事務の成長へ



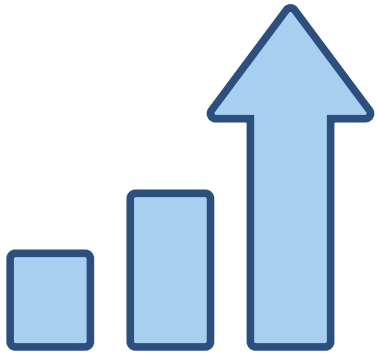
ストレス軽減

・定型業務からの解放
・土日対応の代行



業務の標準化

・業務プロセスの標準化
・個人から組織への転換



営業事務の変革

・営業事務としての成長

他にも様々な業務効果が見込めます。
リードタイム短縮 ／ 単純ミスの削減 ／ ペーパーレス化 など

出典：株式会社ヴィンクス「小売業の業務改革を実現するRPAの実態解説」

© OPEN, Inc. All rights reserved.

導入までの流れ

ユーザー企業

弊社

自動化業務の洗い出し

同業種の自動化事例の提示

対象業務の優先順位付け、トライアルの進行やスケジュール、サポート等の打ち合わせ

無料トライアルで操作感の確認とロボ作成

進捗に応じた伴走サポート、疎通検証等

導入要件を満たすかの検証

不足情報の提供や効果検証の支援

導入判断

導入の場合は、運用保守、オンボーディングの打ち合わせ

複数製品の比較ポイントの整理

比較中製品の比較ポイントの確認（2～3社がおすすめ）

ご相談、お問合せはこちらまで

https://rpa-technologies.com/inquiry/contact

全国10拠点どこからでもご支援可能！
まずはお気軽にお問合せをください！

© OPEN, Inc. All rights reserved.

オープン株式会社について

会社名	オープン株式会社
持ち株会社	オープングループ株式会社【東証プライム：6572】
設立	2013年7月
代表者	代表取締役執行役員社長　石井 岳之
所在地	東京都港区西新橋3-3-1 KDX西新橋ビル 3階
事業内容	スマートロボット（RPA、AI）を活用した情報処理サービス、コンサルタント事業 スマートロボット（RPA、AI）を活用したアウトソーシング事業 スマートロボット（RPA、AI）を活用したデジタルマーケティング、オンライン広告事業

© OPEN, Inc. All rights reserved.

株式会社日本システムテクノロジー

会社名	株式会社日本システムテクノロジー（略称：JST）
資本金	3,000万円
設立	1971年2月18日
代表者	代表取締役　羽住 直記
本社	東京都江東区森下 5-1-2（JSTビル）
事業内容	ERP JST-1「楽商」シリーズの開発・販売 ソフトウェアの開発・販売 ネットワークシステム構築及びテクニカルサポート インターネットをベースとした Web ソリューション 各種ソフトウェアのサポート及び電子機器のメンテナンス 楽商について

© OPEN, Inc. All rights reserved.

BizRobo!

楽しい時代へ進化する
日本のRPAはBizRobo!から

BizRobo!についての情報はこちら

https://rpa-technologies.com

© OPEN, Inc. All rights reserved.

本カタログの記載事項は変更になる場合がございます。 2024年11月版